

殆んどが夏秋のトビウオ或はイカ漁業が主で概して自家消費漁業に過ぎない。他にシイタケ、立堀網高棚等が行なわれているようである。其他有用藻類が自家用程度に食用又は餌料として採取されている。

同管内の水産資源に就いても専門的な立場から調査を實行するならば或は未利用資源の開発と漁獲の増殖適地は得られよう。

又地元民も今少しく水産面に関心をもち是等資源に対して利用生産すれば村経済にも多く貢献することと思う。

6 水産加工指導講習会

沿岸資源の保護育成を図ると共に沿岸地帯に豊産するノコギリ、うに、なまこ利用について実地に指導し将来村経済振興に寄与せしむ

渡 高 敷 村

場 所	所属事業	内 容	開催期間	参 加 人 員
渡高敷中校	指導事業	(1) ひととぐさの利用について(講習)	1959年 5月24日	婦人会、生活改善、役所職員、 学校委員 40人
・	・	(2) 磯球、産うに利用について(講習)	5月25日	・
河津浦初校	・	(3) その他塩辛漬の製造法について	5月27日	・ 34人
渡高敷村 青年会館	・	(4) 奥地前巻(うに塩辛、ひととぐさ)	5月29日	・ 30人
				計 104人